

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36406	クリエイトデザイン Created Design	小山田 尚弘	専門	1	選択	1.2年 後期
科目の概要						
<p>デザインの分野は、ファッション、インテリア、プロダクト、グラフィックなど多岐にわたります。この授業では、デザインを個性的に発想し楽しく表現できる事を目標に進めていきます。授業では、マンガやイラスト画やポップデザインを制作します。また、花を色んな角度からたくさんスケッチした後、描いたスケッチからアイデアを発想し花柄のデザインを完成します。他に、コラージュやテキストチャーなどのデザイン作品も制作します。さらに、潜在能力開発の一環として学生が制作した作品を、岡崎市や西尾市などの市民美術展に出品したり京都府主催の全国着物デザインコンクールにも出品します。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 描く楽しさを知る。 ② 造形の基本を学ぶ。 ③ 創造力を育てる。 ④ 学生の潜在能力開発の一環として美術コンクールに出品し入選・受賞を目指す ⑤ 美しい配色や画面構成に取り組む</p>			<p>① 学生が好きなように自由に制作を楽しむ事ができる。 ② 造形の基本が学べ、学生のオリジナリティを大切に育て伸ばすことができる ③ 多面的思考から制作のアイデアを出し、学生独自の感性で創造的に作品を仕上げることができる。 ④ 複数の美術コンクールに作品を出品し自信を付けることができる ⑤ ユニークな画面構成や美しい配色の作品に仕上げることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	作品制作では、どんな配色で描き、どんなスタイルで描き上げるか、総合的に検討して仕上げることができる。				
	働きかけ力	わからないことがあり自分では解決できない時は、そのままにせず先生に質問して解決した。				
	実行力	失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動した。				
考え抜く力	課題発見力	自分の学修上の問題点の解決策を考えた。				
	計画力	たくさんのアイデアを出し、計画的に良い作品に仕上げることができる。				
	創造力	課題のデザインを色んな角度から創造し、追求し考え制作することができる。				
チームで働く力	発信力	話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明した。				
	傾聴力	構図や配色について多方面からデザインを検討し、迷ったら積極的に教員のアドバイスを参考に仕上げることができる。				
	柔軟性	問題個所に応じた対応を考え、行動できた。				
	状況把握力	到達目標の達成状況を確認しながら授業に取り組むことができた。				
	規律性	提出物の期限を守った。				
	ストレスコントロール力	失敗したり、うまく行かなかつたりした時、その原因を冷静に分析することができた。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト：必要に応じてプリントを配布する。 参考文献：なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連：色彩と表現、基礎デザイン、染色デザイン 資格との関連：なし</p>						
学習上の助言			受講生とのルール			
<p>美しい形や色彩について日頃から関心を持つこと。 ・作品の制作は綺麗に仕上げること。 ・インターネットなどで参考できる作品を調べること ・作品の制作点数は5～6作品くらい仕上げる。</p>			<p>筆やポスターカラーやアクリル絵具は各学生が準備し管理すること。 ・机の上や周りを汚さないように制作する。汚したら雑巾などで綺麗にすること。 ・作品の提出期限を過ぎての提出は認めない。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	80	①	✓	・制作した作品については完成度(特に優れて高い:K、優れて高い:A、完成はしているが仕上がりは普通:B、完成はしているが仕上がりは悪い:C、完成できてない:D)を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 作品課題から、どんな配色で描き、どんなスタイルで描き上げるか、総合的に検討して仕上げることができる。 (実行力) 失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動できる。 (課題発見力) 自分の学修上の問題点の解決策を考えることができる。 (創造力) 課題のデザインを色んな角度から創造し、追求し考え制作することができる。 (発信力) 話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明することができる。 (傾聴力) 構図や配色について多方面からデザインを検討し、迷ったら積極的に教員のアドバイスを参考に仕上げることができる。 (規律性) 提出物の期限を守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		⑤	✓	
		⑤	✓	
その他	10	①	✓	・授業に積極的に参加して制作できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
① 課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。 ② アイデアもたくさん出し、よく検討して出来上がった優秀な作品である。 ③ 制作者の熱意が伝わる作品である。 ④ 作品の完成度が特に高い場合は K(秀) 評価とする。	① 課題内容に忠実に期限までに提出できた。 ② 構成や色彩配色も出来ている。 ③ 作品制作を真面目に取り組めることができた。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「オリエンテーション」 授業内容やスケジュールについて説明する。参考見本などを見せながら制作について話す。異素材のコラージュ制作の説明をします。注意事項や持ち物など連絡する。	講義 制作内容とスケジュール説明	授業についてまとめ理解し、持ち物などメモし準備することができる	(復習) ・次回の授業で持参するものなどについてまとめ準備する ・異素材のコラージュ制作についてまとめる。	90	主体性 計画力 傾聴力
2週 /	異素材のコラージュ制作① デザインのアイデア作り課題を与えるので、アイデアスケッチを出来るだけたくさん描く。	講義と実習 制作方法の説明後に各自が制作実習	課題からたくさんのアイデアスケッチを描きあげることができる	(予習)課題についてアイデアをたくさん考えてくる (復習)異素材のコラージュ制作についてまとめる	45 45	計画力 創造力 傾聴力
3週 /	異素材のコラージュ制作② デザインのアイデア作り課題を与えるので、アイデアスケッチを描く。教員にアイデアスケッチの絵を見せ指導してもらう。写真も構成に入れデザインする。	講義と実習 制作方法の説明後に各自が制作実習	アイデアスケッチから具体的にデザインを絞り色鉛筆などで下絵を塗り制作できる	(予習)作品について形や色彩など再検討してくる (復習)異素材のコラージュ制作についてまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
4週 /	異素材のコラージュ制作③ デザインのアイデア作り課題を与えるので、アイデアスケッチを描く。教員にアイデアスケッチの絵を見せ批評してもらい作品は提出する。	講義と実習 制作方法の説明後に各自が制作実習	自分の発想でポップデザインのイラストを自由に描くことができる	(予習)キャッチコピーなど事前に沢山出ししてくる (復習)異素材のコラージュ制作についてまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
5週 /	ポップデザイン作品制作① ポップデザインについて説明する。イラスト・構図・アイデア作りについて説明する。	講義と実習 制作方法の説明後に各自が制作実習	ポップデザインのイラスト・構図・アイデア等について学び描きあげることができる	(予習)作品について形や色彩など再検討してくる (復習)ポップデザインについてまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
6週 /	ポップデザイン作品制作② どんな商品のポップを描くか購買に行き決定する。ポップデザインの種類について説明する。イラスト作品が何枚か仕上がったら、各自で作品の検討を行う。	講義と実習 制作方法の説明後に各自が制作実習	イラスト作品が何枚か仕上がったら、各自で作品の検討を行うことができる	(予習)よく売れるポップデザインとはどんなものか考えまとめてくる (復習)ポップデザイン作品についてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
7週 /	ポップデザイン作品制作③ ポップデザインの配色やキャッチコピー文章について資料を配布して説明する。作品の検討を重ねて仕上げる。	講義と実習 制作方法の説明後に各自が制作実習	配色についても色々な角度から検討することができる	(予習)ポップデザインにはどんなものかネット調べておく (復習)ポップデザイン作品についてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
8週 /	ポップデザイン作品制作④ イラストを描く。デザインが決まったら、具体的にデザイン完成する。完成したら購買に展示する。	講義と実習 制作方法の説明後に各自が制作実習	デザインの方向性が決まったら計画的に仕上げることができる	(予習)アイデア作品をたくさん出し制作してまとめておく (復習)ポップデザイン作品についてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	着物デザインの作品制作① 鉛筆で描き、教員が学生の作品を見ながら指導していく。 ※京都府主催の全国着物デザインコンクール出品用作品	講義と実習 制作方法的説明後に各自が制作実習	鉛筆でデザインの輪郭が描けたらポスターカラーで塗って仕上げる ことができる	(予習)モチーフ対象物を使ってデザインを完成する方法についてまとめておく (復習) 着物デザインについて調べてくる	45 45	主体性 計画力 創造力
10週 /	着物デザインの作品制作② 作品制作、鉛筆で描く、アイデアスケッチをたくさん描き仕上げる	講義と実習 制作方法的説明後に各自が制作実習	作品のボリューム感、統一感、変化、バランスなど色んな角度から仕上げる ことができる	(予習) 自宅に帰宅して花を鉛筆デッサンで描いて仕上げる (復習) 着物デザインについてまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
11週 /	着物デザインの作品制作③ 作品制作、ポスターカラー仕上げ。たくさんのアイデアスケッチから良いアイデアを1つ選び出す。画用紙にデザインを描き、刀で切り抜いて、型紙を制作する。	講義と実習 制作方法的説明後に各自が制作実習	作品のボリューム感、統一感、変化、バランスなど出来ているか、確認しながら仕上げる ことができる	(予習) 花のデッサンからアイデアをたくさん出して考えておく (復習) 着物デザインについてデザインをまとめる	45 45	主体性 創造力 傾聴力
12週 /	着物デザインの作品制作④ 作品制作、ポスターカラー仕上げ。選んだアイデア作品を絵描き進める。型紙を使って絵具で仕上げていく。	講義と実習 制作方法的説明後に各自が制作実習	鉛筆でデザインの形を描き仕上げる ことができる	(予習) 沢山のアイデアから色々とアイデア出し制作計画しておく (復習) 着物デザインについてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
13週 /	着物デザインの作品制作⑤ 作品制作、ポスターカラー仕上げ。配色について検討し教員にも相談しながら決定する。型紙を使って絵具で仕上げる。	講義と実習 制作方法的説明後に各自が制作実習	デザインの形が決まれば、塗り色を決めポスターカラーで仕上げる ことができる	(予習) 綺麗に絵具を塗る 作品が遅れていれば自宅で仕上げてくる (復習) 着物デザインについてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
14週 /	着物デザインの作品制作⑥ 作品制作、ポスターカラー仕上げデザインを計画的に仕上げていく。型紙を使って絵具で仕上げる。	講義と実習 制作方法的説明後に各自が制作実習	コンクール申し込み用紙を配り記入することができる	(予習) デザインの色彩や形体の再検討を行う。塗りなおしも考えて検討しておく (復習) 着物デザインについてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
15週 /	着物デザインの作品制作⑦ 画面構成をよく考え形や配色決めて仕上げる。型紙を使って絵具で仕上げる。 ※まとめ。	講義と実習 制作方法的説明後に各自が制作実習	作品の配色や構図について再度、検討し問題があれば訂正できる	(予習) 完成作品として良かった所、悪かった所をまとめておく (復習) 着物デザインについてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力